

まほろん

通信

Shirakawa since 2007



◆特集◆

被災文化財とまほろん

■シリーズまほろんのヒミツ8■

まほろんで時々流れる、あの音楽は？之巻

■シリーズ収蔵資料紹介 26■

文字資料と地名

■コラム■

『なぜ、まほろんは楽しいのか？』

被災文化財と まほろん

東日本大震災以降、福島県内の被災地の文化財保護と、まほろんの取り組みについて紹介します。

文：大山 孝正（専門学芸員）

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生から、まもなく 7 年が過ぎようとしています。福島県は、地震と津波に加え、東京電力福島第一原子力発電所事故による避難という未曾有の事態にも直面し、浜通りを中心に住民生活に多大な影響を被りました。

県内各地の文化財にも、地震・津波・原発事故によって大きな被害が及びましたが、震災発生後から、国・県・被災市町村などの文化財関係諸機関や、ボランティア等による被災文化財のレスキュー作業が、各方面で展開されました。

福島県の被災地のうち、福島第一原子力発電所事故により一時全住民が避難を強いられ、役場機能も県内外に避難することとなった双葉郡の 3 つの町（双葉町・大熊町・富岡町）では、それぞれの資料館等（双葉町歴史民俗資料館・大熊町民俗伝承館・富岡町歴史民俗資料館）に収蔵されていた資料を、現地で適切に管理することが困難になりました。そのため、平成 24 年度に開始された文化財レスキュー事業で、これらの資料を町外へ搬出する作業が行われました。

現在、3 町から救出された資料は、被災ミュージアム再興事業で、まほろん敷地内に建設された仮保管施設において整理・保管されており、元の町での保管管理が可能になるまでの間、適切な保管環境のもとに、大切にお預かりしています。

これら 3 町からお預かりしている資料は、一口に「被災文化財」と言っても、考古資料・民具・古文書から、化石・植物標本に至るまで、その内容や分野は実に多岐にわたります。まほろんの仮保管施設では、それらを整理し、台帳を作成しています。また、平成 24 年度以降、まほろんでは「ふくしま復興展」と銘打って、これらの資料を展示・公開するための企画展等も開催してきました。

昨年 12 月 16 日（土）から 3 月 4 日（日）まで開催中の「被災地の文化財 双葉高校史学部の歩み」では、原発事故後に同校校舎内から救出された史学部関係の資料を展示し、双葉郡の地域史研究に大きな功績を残してきた同部の活動を詳しく紹介しています。双葉高校は、原発事故後



双葉高校の文化祭での史学部の展示風景

に他校の校舎等を用いたサテライト校として授業を継続していましたが、昨年 3 月末で休校となりました。今回の展示会は、往年の高校生たちの目線を通して、この地域の歴史を語る各種の文化財を見つめ直すものです。

地域で営まれてきた人々の暮らしと、その地域の文化財は、密接に結びついています。東日本大震災から 7 年を経ようとする今、あらためて地域の文化財を守り、受け継いでいくことの意味について考える契機にしていいただければ幸いです。



まほろん施設内の被災文化財仮保管施設

表紙の 1 枚

お陰様で、まほろんは昨年、開館以来の入館者が 50 万人に達しました。11 月 18 日（土）・19 日（日）には、日頃の感謝をこめて 2 日間にわたり「まほろん大感謝祭」を開催し、開催中の企画展「はにわ行進曲」にちなんだ様々な体験メニューを実施しました。はにわをモチーフにした泉崎村のキャラクター「いずみちゃん」も来館。子どもたちの笑顔があふれていました。

まほろんのヒミツ8

まほろんで 時々流れる、 あの音楽は？

之巻

まほろん館内で流れる
チャイムの音楽について。

文：本間 宏（学芸課長）

まほろんでは、1時間ごとに時報のチャイム音が流れています。また、夕方の閉館時にもBGM風のチャイムが流れるようになっています。

この2種類のチャイムは、実は、歌詞の付いたまほろんオリジナル曲をアレンジしたものなんです。みなさん、ご存知でしたか？時報チャイムは「ろんろんまほろん—まほろん・シュツドーのテーマ」という曲の冒頭部分で、閉館時のチャイムは「月夜のまほろん」という曲が原曲になっています。いずれも、Fleur Bleueさんの作詞・作曲によるものです。

「ろんろんまほろん—まほろん・シュツドーのテーマ」は、遺跡から出土した土偶や埴輪たちが、遺跡から出動してまほろんで再会するという世界を楽しく表現しています。「ろんろんまほろん シュツドーまほろん 踊りだす遮光器土偶」という詞で始まるアップテンポな曲調は、ワクワクするような躍動感に満ちています。

「月夜のまほろん」は、「月がきれいだね 埴輪が歌ってる」の詞で始まるバラード調の曲です。土器や土偶に月明かりが注ぎ、いにしえの光景に思いを馳せるといふ幻想的な世界を抒情的に描いています。

2001年のまほろん開館記念イベントでは、「ろんろんまほろん—まほろん・シュツドーのテーマ」を白河第五小学校の当時の6年生たちが元気いっぱい合唱してくれました。また、「月夜のまほろん」を、プロ歌手のYaeさんがしつとりと歌い上げてくれました。



踊りだす遮光器土偶？

コラム

『なぜ、まほろんは楽しいのか？』

文：三浦 武司（専門学芸員）

まほろんは、今年で16年目。入館者も50万人に達しました。「見て・触れて・考え・学ぶ体験型フィールドミュージアム」として、全国に先がけた取り組みを行っています。楽しみながら、学べると好評です。

一方、このようなデータも。首都圏の小中学生の親に聞いた博物館利用に関するアンケートの結果では、博物館に「行くことが好き」と回答した方は2・6%。「まったく行かない」と回答した方は17・4%でした。行かない理由としては、「敷居が高い」や「静かにしないとだめ」と考えられています。まほろんでは、子どもたちの元気な声や明るい笑顔が見られます。「なぜ楽しいのか？」そのヒントをちよつとだけ紹介します。

その1 展示がおもしろい。日本の歴史を「食べ物」や「住まい」から、分かりやすく伝えていきます。

その2 たくさんの体験学習。定番の勾玉づくりや火おこし体験だけでなく、他の施設にない体験が、月替わり体験やイベントで行えます。

その3 入館無料！安いが一番!?

その4 スターな職員たち。ちよつとだけ紹介します。

まずは、映画スター 石●裕次郎に姿が似ている？学芸課長。

テクニックスター わくわクニイさん。カゴ編みなどの技術は職人クラス。コミカルスター わくわクニイさんの相棒のケロリさん。

そして、スーパースター アテンダントさん。明るい笑顔でみなさんをおでむかえ。まほろんの顔です。など。

どうですか？紹介した他にも、まほろんの「楽しい」は、いっぱいあります。まほろんは、親子でお話ししながら展示を見たり、みんなで古代体験をして、学べるミュージアムだから『楽しい』のです。



スターな職員

文字資料と地名

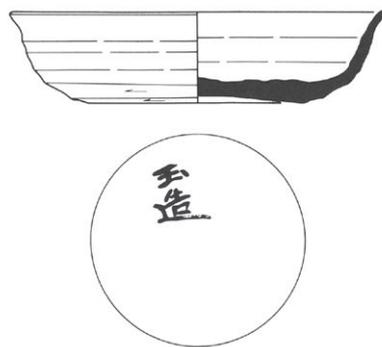
ぼくしよ もっかん
～墨書土器と木簡～

おおきんだ
いわき市大猿田遺跡出土の墨書土器と木簡から文字資料と地名について考えます。

文：太田勇陽（学芸員）

10世紀前半に成立した日本最古の漢和辞典『和名類聚抄』には、日本全国の地名が書かれています。一方、まほろん収蔵の資料には、『和名類聚抄』成立前の8世紀の地名を記したものがあります。

おおきんだ
大猿田遺跡は、福島県いわき市四倉町中島に所在する古代の遺跡



大猿田遺跡「玉造」墨書土器

たまつくり
です。遺跡からは「玉造」と書かれた墨書土器や木簡が出土しましたが、実はこの「玉造」という地名、今も四倉町に残っているのはご存知でしょうか。

大猿田遺跡から南に約2キロの地点ある四倉町長友（旧「長友村」）には、「玉造」という小字が残っています。この小字は、明治11年（1878）の大須賀次郎（鈞軒）「長友村誌」（『磐城郡村誌』2巻所収）の字限図にも見え、近代以降に新たにできた地名ではないことが分かります。

さらに、この長友地区の東側の大字界は、古代の道の跡と考えられています。字界が古代の道路跡と重なる場合があるのは、最近、国史跡指定となった福島県南相馬市原町区の泉官衙遺跡にも見られる特徴です。長友地区周辺は、古代の条里制の痕跡も見えることから、陸奥国磐城郡玉造郷を、1300年前の常磐自動車道が通過していたこととなります。

大猿田遺跡が玉造郷に含まれるのかについては議論がありますが、同遺跡のそばが「玉造郷」であったことは、「玉山」という大字が残っていることや、江戸時代の地誌『磐城志』において、「玉造川」と俗称された川が流れていたことなどから、小字「玉造」が残る大字「四倉町長友」付近が玉造郷であったことは確かです。



大猿田遺跡「玉造」2号木簡

全国から見つかる墨書土器の中には、地名と考えられる物も含まれており、鶴沼B遺跡（会津若松市）の「田仲」墨書土器も、矢玉遺跡5号木簡の「田仲村」を指すと考えられています。もちろん、地名のすべてが古代にさかのぼるわけではなく、慎重な判断が求められます。しかし、ひょっとしたら、今、みなさんの住んでいる場所の地名も、みなさんが思っているより古くからあるかもしれませんね。

まほろん掲示板

12/16 (土) ~ 3/4 (日)

企画展「双葉高校史学部の歩み」

1/20 (土)・21 (日)・2/25 (日)

縄文土器づくり上級編

1/28 (日) 文化財講演会

「双葉高校史学部の軌跡」

2/3 (土) 第5回館長講演会

2/3 (土)・4 (日) 昔のはきものづくり

2/18 (日)

まほろん冬まつり

2/24 (土)

地方史研修

「白河市天王山遺跡

の謎」



★お気軽にお問い合わせください！

編集後記

まほろんは昨年、入館者数が50万人に達しました。その間に、東日本大震災も経験し、文化財の大切さと面白さを伝える工夫をしてきました。本年も、次なるステップに向け、チャレンジして参りますので、ご期待ください。

まほろん
通信
vol. 66

平成30年1月12日発行

開館時間 9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日 (月曜日が祝日・休日の場合にはその翌日ですが、GW及び夏休み期間中は開館します) / 国民の祝日の翌日 (土・日曜日に当たる場合は開館 / 年末年始 (12月28日~1月4日))
入館料 無料 (体験学習によっては、材料費が必要な場合があります。)

お問い合わせ



福島県文化財センター ● 白河館

〒961-0835 福島県白河市白坂一里段 86

☎ 0248-21-0700

fax 0248-21-1075

ホームページ

まほろん

検索

